

平成 25 年度 事 業 報 告 書

I 法 人 本 部

社会福祉法人啓和会は、平成 25 年度事業計画に基づき、設立の理念と公益性を踏まえ、多様化する福祉ニーズに応えられるよう、提供するサービス機能の整備を行うとともに、その質の向上に努めました。さらに事業経営の透明性の維持のため法令を遵守し、社会情勢の変化に柔軟に対応できる経営姿勢で事業基盤の強化を図りつつ、次に掲げる事業の経営を行いました。

経 営 施 設 等 一 覧

	施 設 名	施 設 種 別	所 在 地	開 設 年 度	利 用	定 員
第 一 種 社 会 福 祉 事 業	久喜けいわ	障害者支援施設 施設入所 生活介護 就労移行 就労継続B型 短期入所 日中一時(公益事業)	久喜市六万部 1435	(昭和 63 年 7 月)	入 所 通 所 通 所 通 所 入 所 通 所	60 67 15 32 6
				平成 21 年 6 月		
				〃		
				平成 22 年 3 月		
				〃		
				平成 10 年 4 月 平成 18 年 10 月		
第 2 種 社 会 福 祉 事 業	ケアホーム清久	障害福祉サービス事業所 共同生活介護	久喜市上清久 1524-1	平成 18 年 10 月	入 居	26
	久喜市いちょうの木	障害福祉サービス事業所 生活介護	久喜市所久喜 835-1	(平成 19 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	40
	久喜市立のぞみ園	児童発達支援事業	久喜市北青柳 1331	(平成 22 年 4 月) 平成 24 年 10 月	通 所	10
	久喜市ゆう・あい	障害福祉サービス事業所 生活介護	久喜市上内 327-6	平成 24 年 4 月	通 所	20
	久喜市あゆみの郷	障害福祉サービス事業所 生活介護 就労継続 B 型	久喜市東大輪 2273-1	平成 24 年 8 月	通 所	10 10
	埼玉北障害者生活 支援センター	相談支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 18 年 10 月	—	—

公益事業	埼玉葛北障害者生活支援センター	障害児（者）等療育支援事業 埼玉県地域生活定着支援センター事業 子どもの発達支援 巡回事業	久喜市青毛 753-1	平成 11 年 10 月 平成 22 年 5 月 平成 23 年 9 月	—	—
	久喜市障害者就労支援センター	久喜市障害者就労支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 16 年 6 月	—	—
	埼玉葛北障害者就業・生活支援センター	障害者就業・生活支援センター事業	久喜市青毛 753-1	平成 19 年 4 月	—	—

啓和会が掲げる設置理念の目指すところは、障害のある人が地域で安心して暮らせる分け隔てなく包みこむ社会を構築することにあります。そのキーワードは、地域であり、住民であり、住民とのつながりであることを私たちは常々強調してまいりました。

その趣旨で、「ふれあいの家しらはた」の活用は、地域住民とのつながりを深めるための役割を担っています。今年度の利用状況は、地元清久地区婦人会上清久新田支部の事業として毎月 1 回行う高齢者のデイサービスを 9 回開催しております。参加されるお年寄りも、久喜けいわ創設の頃から草むしりや大豆畑の手入れで応援して下さいました。また、地元住民の打合せの場所にも、久喜けいわやケアホームの入居者と婦人会員との合同の趣味活動の場としても使われています。

平成 25 年度も、法人の理念「人間の尊重と地域社会との共生」のもとに、多機能のサービス提供施設である「久喜けいわ」を障害のある人を地域で支える拠点として、支援センターのコーディネート機能を活用して、法人が経営する事業所間の有機的な連携を図り、質の高いサービスの提供とセーフティネットの役割を果たすことを基本的な立脚点としました。

内部整備として十分でなかった久喜けいわとワークセンターの一体化をさらに強化して、職員の稼働を横断的に行い、生活基盤である施設入所支援と生活介護支援及び就労系の支援の有機性を高めました。

さらに、サービスの質の向上と業務の効率化を図るために生活支援ソフト「福祉見聞録」の運用を開始しました。これにより、PDCAサイクルによる進行管理及び記録の整備ができる予定でしたが、記録はできても要点ははずさず簡潔に解りやすいか、書かれた記録が関連して情報としての活用ができるまでになっているか等、内容の質の点での吟味は、まだ努力中でありま

利用者の預り金の管理の適正化を図るために現金及び事務管理を支援課から総務課に移管し、総務課の管理のもとに毎月末の預金、現金収支と残高のチェックを行い、毎月家族に対し預金、現金収支（支出内容も含めて）残高を確認した報告書を送付しています。

災害時緊急避難対策として国の平成 25 年度防災拠点スペース増築整備事業では、用地確保準備及び関連する事務手続等を行いました。震災関連で価格が高騰し入札も不調、人材不足で工期の確保も困難となり、整備を断念せざるを得ませんでした。篤志家の寄付に対し、便宜が図られるよう、税額控除対象となる社会福祉法人の証明が久喜市より交付されたので平成 26 年 1 月 6 日からの寄付金に対し有効となりました。

新規事業は、施設創設以来 25 年にわたり久喜市歯科医師会の厚意による歯科検診事業に対し、永年にわたる貢献に万感の謝意をもって、本年度より啓和会が予算を計上し地域在宅者を含めて社会貢献事業の一環として実施することにしました。

I 本部事業

1 役員会・評議員会及び監事会の開催

日 時	議 題	場 所	出席状況
平成 25 年 5 月 22 日 (水) 監事会 14:00~17:30	1 平成 24 年度理事の業務執行状況 2 平成 24 年度財産の状況	久喜けいわ	監事 2 名 常務理事 幹部職員
平成 25 年 5 月 29 日 (水) 第 54 回評議員会 10:00~12:20 第 84 回役員会 14:00~15:30	1 平成 24 年度事業報告について 2 平成 24 年度決算について 3 施設整備について 4 定款の一部変更について 5 規程の一部改正について (運営規程) 6 久喜市いちょうの木の給食業務委託について 7 その他	久喜けいわ	評議員 15/19 理事 8/9 監事 2/2
平成 25 年 9 月 18 日 (水) 第 55 回評議員会 10:00~11:30 第 85 回役員会 14:00~15:20	1 役員の変更 (案) について 2 久喜けいわ機能訓練等 (避難スペース) 建設工事請負契約について 3 スプリンクラー整備 (ケアホーム清久) について 4 久喜市いちょうの木の給食業務委託契約について 5 規程の一部改正について (運営規程) 6 平成 25 年度第 1 回補正予算 (案) について	久喜けいわ	評議員 14/19 理事 6/9 監事 2/2

	7 その他		
平成 25 年 12 月 28 日 (土) 第 56 回評議員会 10 : 00~12 : 40 第 84 回役員会 14 : 00~14 : 40	1 利用者預り金に係る事故発生の経緯とその処理、今後の対応について 2 幹部職員の人事について 3 ケアホームスプリンクラー設備整備工事契約について 4 規程の一部改正について (運営規程) 5 平成 25 年度第 2 回補正予算 (案) について 6 その他	久喜けいわ	評議員 13/19 理事 9/9 監事 2/2
平成 26 年 3 月 25 日 (火) 第 57 回評議員会 10 : 00~12 : 30 第 87 回役員会 14 : 00~15 : 30	1 平成 25 年度補正予算 (案) について 2 平成 26 年度事業計画 (案) について 3 施設整備について 4 経理規程の制定について 5 平成 26 年度予算 (案) について 6 規程の制定・一部改正について (業務専決規程、畝 (石井・(ハイツ)) 規定、給与規程、就業規則) 7 職員資格取得等支援制度の創設について (協議事項) 8 その他	久喜けいわ	評議員 15/19 理事 7/9 監事 2/2

※ 5 月役員会の定款変更は、社会福祉法人の認可等に係る事務の権限移譲に伴う県から市への所轄官庁の変更、基本財産の土地の地目変更に伴う別表の変更。(変更登記不要)

※ 12 月役員会の人事案件は、幹部職員 (事務長) の就任について。

2 幹部会議の開催

経営会議の要素を含め、定例、臨時を併せて 13 回の幹部会議を開催しました。常務理事以下、各事業所の主任以上の幹部職員が参加していますが、課題解決の早期化が図られつつあります。具体的に早期解決を要する案件については、施設長が招集する即応打合せが有効的でした。自主的な提案、意見交換の成熟が期待されるところです。

3 経営財源の確保

(1) 幹部会議における毎月の執行状況のチェックと「地域におけるセーフティネットの役割を果たす」としたスタンスの徹底で、各事業所とも利用率は良好であったことで、自立支援費収入が増えています。

寄附金については本部嘱託職員による啓発啓蒙活動で後援会からの収入が増えました。

(2) 財務分析による効率的経営、業務改善による人件費節約

目標管理は全事業所、概ねできていますが、経費削減は電気料金の値上げ(約15%)等あり数字としては達成できませんでした。短時間勤務職員の配置増、業務の見直し等により時間外勤務時間の削減につながりました。

(3) 寄付、助成金の活用による財源確保

・平成25年度は、次とおり、企業、団体及び個人からの寄付を受け入れました。

寄 附 者	金 額
(本 部)	
恵比寿化成様他7企業・2団体	1,590,000円
宮川耕一様他118名の個人	5,888,052円
小 計	7,478,052円
(久喜けいわ)	
ボーイスカウト久喜団様他3団体	230,000円
小泉悦子様他2名の個人	133,600円
小 計	363,600円
(いちょうの木)	
清久婦人会様他2団体	20,000円
(あゆみの郷)	
星野功様	75,150円
(のぞみ園)	
柳沢一子様	100,000円
合 計	8,036,802円

・申請中であった税額控除対象となる社会福祉法人の証明を受ける要件(3,000円以上の寄附者が100人を超える)が整い、平成26年1月6日付をもって証明が受けられました。

・次のとおり、助成金を受け入れました。

内 容	金 額
(本 部)	
埼玉労働局 特定就職困難者雇用開発助成金 (重度知的障害者)	330,000円
埼玉労働局 特定就職困難者雇用開発助成金 (60歳以上の者)	250,000円
合 計	580,000円

4 施設整備等

(1) 下記の施設整備を実施しました。

① 利用者の利便性を高めるため、危機管理対応のための整備

事業内容	事業費(円)	財源(円)
1 自立棟給湯器サーモスタット交換工事	199,500	自己資金
2 非常用照明器具バッテリー交換	169,890	〃
3 大型洗濯機主軸交換	1,106,595	〃
4 生活棟厨房内壁ステンレス貼工事	285,600	〃
5 女性棟トイレ入り口拡張工事	367,500	〃
6 管理棟医務室拡張工事	724,500	〃
7 女性棟トイレ改修工事	346,500	〃
8 男性棟トイレ間仕切り改修工事	231,000	〃
9 自立棟厨房レンジフード交換	136,500	〃
10 生活棟厨房ガス周り配管工事	498,435	〃
11 AED入替	194,565	〃
12 女性棟浴室介護浴槽設置	1,575,000	〃
13 自立棟厨房消毒保管庫設置	609,000	〃
14 CH(清久、こすもす)スプリンクラー整備	5,545,000	内2,416,000補助金
計	11,989,585	

② サービスの質の向上、業務の効率化のための整備

事業内容	事業費(円)	財源(円)
1 小型餃子機整備	1,144,500	自己資金
2 餃子用マルチミジン機整備	127,365	〃
3 餃子用冷凍冷蔵庫設置	810,810	〃
4 自立棟2階和室畳替え	242,235	〃
5 幕張版ワークサンプル整備	478,425	全額補助金
計	2,803,335	

①+② 総額	14,792,920	
--------	------------	--

(2) 喫緊に整備を要するものとして、味噌の増産に伴う醸造保管倉庫(鉄骨、約50㎡)の整備があります。

5 危機管理の体系化と対策の強化

- ・危機管理委員会の再編成を行い、災害対策(火災、地震、暴風雨、水害等)と感染予防の

体系化と強化を図り、職員・家族・関係機関の緊急連絡網（携帯・固定電話と I T）と大方の防災器具等を整備し、家具の固定化等も行いました。

・新たに預り金の適正管理を強化しました。

6 借入金の償還状況

借入年度 借入先	借入額	期首残高	平成 25 年度 償還補助金	平成 25 年度 償還金	借入残高
	円	円	円	円	円
平成 18 年度 埼玉県民間社会福祉 施設整備促進資金 借入金（生活介護）	1,500,000	600,000	元金 150,000 利子 4,068	元金 150,000 利子 4,068	450,000
平成 18 年度 埼玉県民間社会福祉 施設整備促進資金 借入金（就労継続）	12,969,000	5,187,000	元金 1,296,900 利子 35,179	元金 1,296,900 利子 35,179	3,890,700
平成 8 年度 福祉医療機構 （生活介護）	67,000,000	13,400,000	元金 3,350,000 利子 3/4 291,450	元金 3,350,000 利子 388,600	10,050,000
平成 18 年度 福祉医療機構 （就労継続）	25,000,000	18,340,000	元金 1,310,000 利子 336,015	元金 1,310,000 利子 336,015	17,030,000
埼 玉 県 計	14,469,000	5,787,000		1,446,900	4,340,700
福祉医療機構 計	92,000,000	31,740,000		4,660,000	27,080,000
合 計	106,469,000	36,527,000	1,934,108	6,106,900	31,420,700

7 地域福祉活動

(1) ケアホームの入居者のバックアップ（久喜けいわ）

前年に引き続き、法人本部では事務的業務、久喜けいわからは支援、医療、栄養面で、また、相談センターは各種相談や手続き等を行いました。

栄養面では、栄養ケアマネジメントの支援により、肥満の修正や塩分の管理等で成果があ

がっています。

ケアホームにおいても、バックアップを受けるだけでなく、久喜けいわの課題のある入所者の日中支援を受け入れています。

(2) 障害者福祉ニーズの調査

25年度の障害者福祉ニーズの調査は、相談センターが受けた相談内容から分析し、傾向を把握しました。

(支援センターで詳細、再掲)

生活に関するニーズ 55%

施設に関するニーズ 20%

医療に関するニーズ 12%

職業に関するニーズ 8%

教育に関するニーズ 5%

(3) 久喜市知的障害者青年学級運営委員を派遣しました。(久喜けいわ・いちょうの木・支援センター)

(4) 地域にむけた療育研修の実施

今年度より法人事業として、久喜市歯科医師会との共催で、入所利用者と在宅の知的障害者のための歯科保健事業を行ないました。

○事業内容

- 1 入所施設利用者と地域利用者の歯の衛生管理の実態調査
- 2 歯科健診による実態把握と健診結果を踏まえた歯科医による助言指導、意見交換
- 3 歯科健康診断票の作成と利用者本人、家族への説明
- 4 歯科衛生士によるブラッシング指導(久喜けいわ、地域施設)
- 5 歯科医と歯科衛生士による歯の健康と口腔ケアの研修
- 6 歯の健康と疾病について研修会(講師 市村光先生)を菖蒲コミュニティーセンターで開催し、福祉関係者、保護者、一般住民が参加し、好評でした。

受診者は、入所利用者 60名、地域利用者 109名でした。

今後は、法人の地域福祉活動として毎年継続する予定です。

(5) 協力医療機関の開拓

新たに厚生連久喜総合病院の協力が得られました。

(6) ふれあいの家しらはたにおける地域福祉活動

ふれあいの家しらはたを利用して地元高齢者のデイサービスの場として、地区の住民の打ち合わせの場所に、久喜けいわ、ケアホームの利用者と地元婦人会との合同の趣味活動の場として活用しました。

(7) 利用者の工賃アップのためにワークセンターにおいて「餃子」の製造をはじめました。販売については注文販売のほか、鷲宮親の会が運営するキッチンこすもすで一般人に食事として提供しています。

8 人材育成と人材確保

(1) 幹部職員の育成

- ・経営会議、幹部会議の定期開催に、主任以上を参加させ、会議を通して、PDCA を学習させました。
- ・サービス管理責任者の養成（生活介護、就労・埴）を行ないました。
- ・業務コンサルタントを導入し、会議や研修を通して業務上の助言を受けました。
- ・総務課 1 名、支援センター 2 名を主任に昇格させました。

(2) OJT の充実、合同研修の実施

- ・主任を OJT 責任者として若手職員の指導を担当させました。不慣れな点もあり、成果が十分とはならず、次年度に期待をかけています。
- ・合同研修は全事業所参加で、新任・中堅・幹部について実施しました。研修の方法にはさらに工夫を要しています。

(3) ケアマネジメント従事者養成研修へ参加（金子、松本、河野）しました。

(4) 各種資格取得の推進

- ・精神保健福祉士（袴田）を取得しました。

(5) 職員の労働環境の整備、流出防止

- ・毎月の衛生委員会の開催により、労働環境の整備に努めました。
- ・メンタルヘルスに関する研修を受けた総務課主査が、職員からの相談に対応しています。

(6) キャリアパス制度の導入

- ・総務課長中心に継続で導入を準備中です。

9 外部委託給食の評価

毎日の検食簿と毎月の給食会議で評価を行なっていますが、委託後の給食内容には満足の結果がでております。

10 地域社会との連携の強化

- ・日常的活動による住民との連携は、全事業所利用者がいろいろな場面で地域行事や地域活動に自然な形で参加しており、好ましいつながりができてきています。特に、新しく指定管理を受けた久喜市ゆう・あいと久喜市あゆみの郷の事業所は、今までの連携をより強固にする形で努力しております。
- ・清久地区 67 区においては、防災対策について相互協定が結ばれています。
清久東部地区防災対策連絡協議会等を軸とする災害時相互支援体制づくりは、現在進行中です。
- ・ふれあいの家しらはたの活用は前述した通りです。有効に活用しています。

11 スポーツ振興事業等の推進

- ・マラソンクラブ、音楽クラブは多くのボランティアのサポートにより順調に活動しています。
引き続き本部は振興費の助成を行なっていきます。

12 広報活動の充実

- ・法人のホームページに新設事業所の紹介ができるようになりました。月 1 回程度更新しました。職員採用については頻繁に更新しています。
- ・法人の会計報告はホームページによって行なっています。
- ・法人の事業活動紹介の DVD が広報の実をあげています。

13 家族会後援会との連携

- ・利用者の高齢化と医療の問題について、病院入院時の付添及び差額ベット代の自己負担の実情を通じて今後の対応策を協議しています。
- ・親亡きあと家族としての見守りを引き継ぐ人（後見人も含めて）について問題提起を始めています。
- ・本部嘱託職員が家族会・後援会の対外的活動と事務処理等について応援しております。

重点事項の達成状況

- 1 経営財源の確保（全事業所の定員充足の努力）と税額控除対象となる社会福祉法人の証明を受ける要件
 - ・定員充足はほぼ達成しました。
 - ・税額控除対象となる社会福祉法人の証明は平成 26 年 1 月 6 日久喜市より交付されました。
- 2 危機管理（リスクマネジメントを含む。）の体系化と防災対策（火災、震災）と感染予防の強化（特に、地域との連携において）
 - ・委員会において体系化が図られました。各事業所においても統一化されてきています。新たに、預り金の扱いについて要綱を改正し、管理を強化しました。
- 3 人材育成と人材確保
 - ・働きやすい環境整備として子育て支援手当を創設しました。
 - ・育成は OJT の強化を図りました。
 - ・人材確保は何とかできているが年々困難になっているので経営上の工夫が要されています。
- 4 入所利用者の高齢化、重度化へ対応する久喜けいわの旧棟増改築の検討と機能訓練棟の整備目標の策定及び資金計画
 - ・女性棟に介護浴槽を設置し、利用者の安全と快適性を増進するとともにし、職員の介護労力の軽減と腰痛予防に役立ちました。
 - ・旧棟改築に至るまで中期整備の計画と資金調達について案を策定中です。
- 5 老朽化したケアホームの改築を家主へ要請、新規ケアホーム（賃貸）の開拓
 - ・家主に改築を要請したところ、定員 7 名で改築が決定。来年度早々に着手予定です。
 - ・地域の協力者による賃貸のケアホーム 7 人が来年度早々には契約ができる予定です。
- 6 新会計基準移行への準備
 - ・平成 26 年度に移行します。